



愛媛FC

放課後から、人を育てる。愛媛FCと地域がつくる「放課後わくわく教室」 1/2

放課後における子どもたちの安全・安心な居場所づくりは、地域が抱える重要な社会課題の一つです。東温市の「放課後わくわく教室」は、その課題に対し、体験と交流を通じて子どもたちの成長を支える通年型の取り組みです。愛媛FCは、地域に根差したクラブとして培ってきたホームタウン活動の経験を生かし、本事業に参画しました。選手や地域の大人との継続的な関わりを通じて、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを育み、放課後から未来へ踏み出す力を後押ししています。



活動場所 東温市立川上小学校



協働者

行政、企業、住民、学校、学生、NPO、ファン・サポーター、民間団体、選手、一般社団法人、一般財団法人

協働者名

東温市、東温市教育委員会、愛媛マダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、愛媛プロレス、一般社団法人e.n、YAWARA道場、株式会社カネシロ、城東開発株式会社、砥部みらい会議木育部会、一般社団法人愛媛県LPガス協会青年部、株式会社NTTドコモ、伊予銀行テニス部、日本航空株式会社、一般財団法人日本航空協会、愛媛日産自動車株式会社、日本紙パルプ商事株式会社、株式会社Gakken、東温市婦人会、済美高等学校チアリーディング部BLAZE、愛媛大学理学部、Hanbun.co



協働者の声 東温市教育委員会 生涯学習課／山内 竜 氏



「放課後の居場所づくり」をテーマに、愛媛FCの皆さんが本気で子どもたちと向き合い、挑戦する楽しさや前向きな気持ちを引き出してくれています。行政だけでは生まれにくい企業同士の連携による幅広い活動が、地域で子どもを育てる流れに繋がり、安心できる環境が着実に広がっていると感じています。



活動詳細情報

1

[愛媛新聞](#)

2

[東温市](#)

3

[公式X](#)

4

[東温市X](#)


カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ

3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに





愛媛FC

放課後から、人を育てる。愛媛FCと地域がつくる「放課後わくわく教室」 2/2

Story

この事業をはじめたきっかけは、東温市の担当者の方との出会いでした。愛媛FCには、愛媛県全市町と共につくり上げる「マッチシティ&マッチタウン」という取り組みがありますが、東温市との取り組みは、これまで主にホームゲームを通じた関わりにとどまっていた。そんな中、「東温市で行われている事業に愛媛FCの選手に来てほしい」というご要望をいただき、選手と共に参加したことが、本事業へ関わる大きなきっかけとなりました。地域に根差した活動を本気で追求するなら、クラブ自らが地域へ出向き、地域のために行動することこそが、Jリーグクラブとしてあるべき姿ではないか。事業に参加することで、その想いを改めて強くしました。



東温市の「放課後わくわく教室」は、市職員の皆様を中心となり、「放課後の安全・安心な居場所をつくり、体験・交流を通じて豊かな人間性を育む」ことを目的に、継続して取り組まれてきた事業です。地域の子どもたちやまちづくりに真摯に向き合う姿勢に触れ、深く共感しました。担当者の方から伝えられた「地域の子どもたちのために、放課後の時間をもっと良いものにしたい」という想いが、クラブとしてこの事業に向き合う覚悟を後押ししました。そうした背景の中で「愛媛FCさん、やってくれませんか?」というお声かけをいただき、本事業への参画を決意しました。

年間を通じて子どもたちと関わる取り組みは、スクール事業以外では愛媛FCとして初めての挑戦でした。当初は不安もありましたが、子どもたちと向き合う時間を重ねる中で、覚悟をもって取り組む事業へと変わっていきました。子どもたちの笑顔や真剣な眼差し、小さな挑戦の積み重ねに触れるたび、この事業に携われて良かったと感じています。



子どもたちの興味や関心は多様で、全員が同じ活動に関心を示すとは限りません。それでも、一つでも「楽しい」「面白い」と感じられる経験を届けたい。その積み重ねが子どもたちの未来につながると信じ、地域の団体や企業の皆様と連携しながら事業を進めています。

いつか、川上小学校に来てくれる「愛媛FCのヤナギ」から、ニンジニアスタジアムで再会する「愛媛FCのヤナギ」へとつながることを願いながら…、今後も地域とともに、この事業を大切に育てていきたいと考えています。